

# 速



# 北陸中日新聞

# 報

# 社民 連立離脱

## 3党体制 8カ月で幕

社民党は三十日、米軍普天間飛行場（沖縄県宜野湾市）移設問題をめぐる福島瑞穂党首の閣僚罷免を受け、連立政権から離脱する方針を決めた。都内で開いた全国幹事長会議での議論を踏まえ、党常任幹事会で決定した。昨年九月にスタートした民主、社民、国民新三党の連立体制は八カ月余りで幕を下ろす。

参院選を控え、民主党内では福島氏を罷免し、社民党を連立離脱に追い込んだ鳩山由紀夫首相の辞任論が浮上。政局は緊迫した場面を迎えた。

党執行部は、幹事長会議で連立離脱方針を提案。出席者からは支持する意見が大勢を占めた。今後、民主党と政策ごとの「部分連合」を模索するとみられる。



社民党の全国幹事長会議で、厳しい表情の福島瑞穂党首—30日午後、東京都内のホテルで